

【特集】「福島県における減塩の取組～これまでとこれから～」

おいしければ、減塩も受け入れられる!?

県北支部

福島県における健康的な食環境整備の推進

福島県健康づくり推進課
積口 順子（公衆衛生職域協議会）

皆さん、こんにちは。福島県健康づくり推進課の積口です。

日頃より、福島県の栄養・食育行政に御支援・御協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、今回の原稿依頼をいただいた際、私は「行政の責務として、食環境整備に取り組める時代になったのだ…」としみじみ思いました。と申しますのは、私が県職員として保健所に勤務した約34年前は、現在のいわゆる食育や健康づくりは「大切だけれど、家庭の責任で個々人が行うものであり、行政が行うべきものではない」という認識が主流だったからです。そのため、「食環境整備」等は勿論のこと、「食育事業」等を予算化しようとしても認められず、「行政栄養士は何のためにいるのだろう……」と悲しい思いをしたものです。

その当時と比べますと、現在は、ほとんどの市町村に行政栄養士さんが配置され、食育推進計画も策定され、食育や健康づくり事業を行政が実施することは当然の時代となりました。これらは全国的な推進運動の結果ではありますが、本県においても中村啓子名誉会長・鈴木秀子会長をはじめとする管理栄養士・栄養士の諸先輩方、食生活改善推進員さんや企業・関係者の皆さまの御支援・御尽力の賜物であると、この場をお借りしまして心より厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

前置きが長くなりましたが、現在、福島県では行政だけでなく、福島県食育応援企業や飲食店や特定給食施設等の御協力をいただきながら標記事業に取り組んでいます。今年度も、スーパー・特定給食施設（事業所）で減塩のモデル事業を実施していますが、喫食者からの反応も好評で、「おいしければ、減塩も受け入れられる」ことがわかってきました。本県の健康指標は全国的にも悪い状況で、まだまだやるべき事が沢山あります。来年度からは、減塩だけでなくメタボ・肥満予防にも配慮したモデル事業に拡大していけたらと考えております。

福島県栄養士会の会員・賛助会員の皆さまも（勿論、私も）、県民の一人です。ぜひ皆さまで「将来、福島県でこんな健康的な食環境の取組があったらいいな♪」を楽しみながら一つ一つ実現していきましょう！

今後とも御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

